

## ◆ 今週のコメント

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱・咳嗽・呼吸困難・肺炎です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満男性)(第26週追加分)あり、本年の累積報告数は40例となっています。
- 梅毒の報告が2例(20歳代男性及び女性)あり、推定感染経路はともに性的接触です。本年の累積報告数は31例で昨年同時期(16例)の約1.9倍と、非常に早いペースで増加しています。感染予防には、性交時のコンドームの使用が有効とされています。早期の薬物治療で完治することから、早期発見が重要です。検査は医療機関でもできますが、本市ではHIV検査と同時に梅毒を含む性感染症検査を、平日、土日及び夜間に行っています。詳細については、以下のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

## ◆ 今週のトピックス:<手足口病>

- 京都市における手足口病の定点当たり報告数は6.45(271例)となり、警報開始基準値である「5」を超えました。このため、7月12日に手足口病流行発生警報が発令されました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 2例, 其他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 188例(肺結核 95例, 其他結核 28例, 潜在性結核感染者 65例)うち喀痰塗抹陽性 49例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例(第26週追加分)【1月以降の累積報告数 40例】
- 五類:梅毒2例【1月以降の累積報告数 31例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	6.45	271
	② 感染性胃腸炎	5.60	235
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	81
	④ ヘルパンギーナ	0.76	32
	⑤ 突発性発しん	0.69	29
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

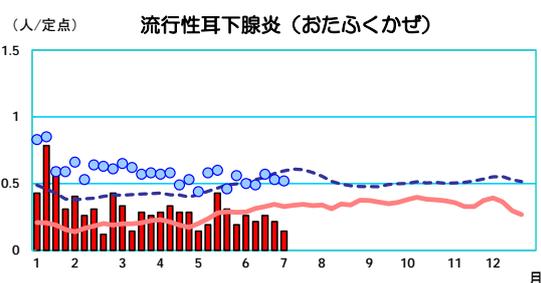
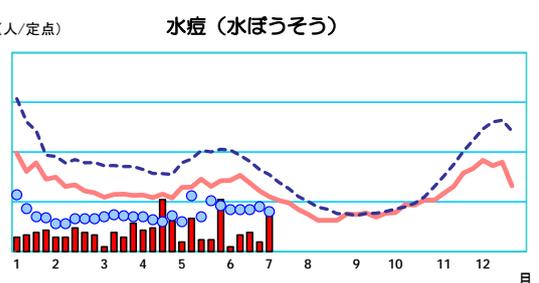
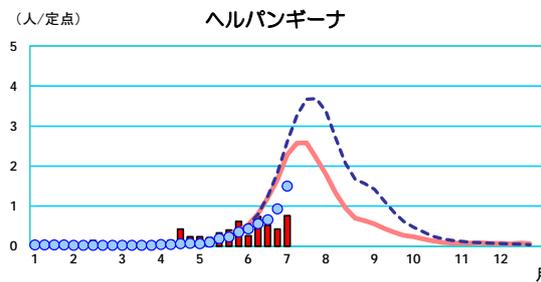
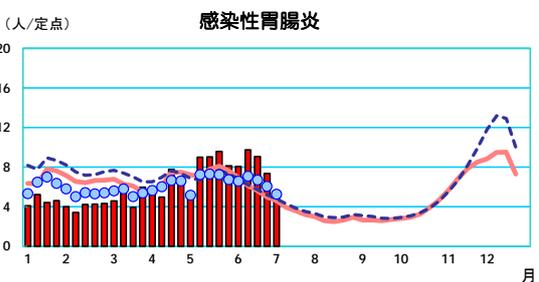
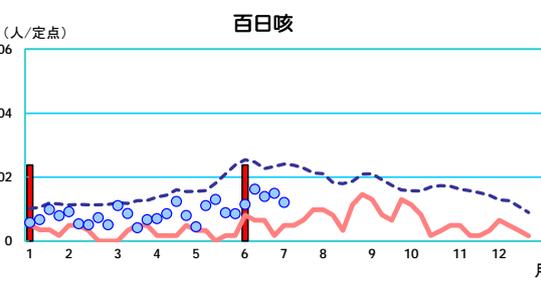
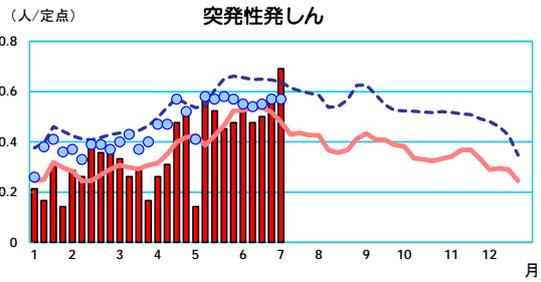
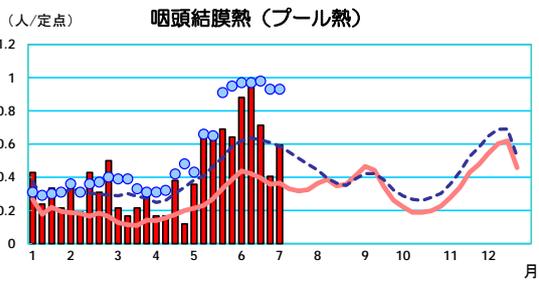
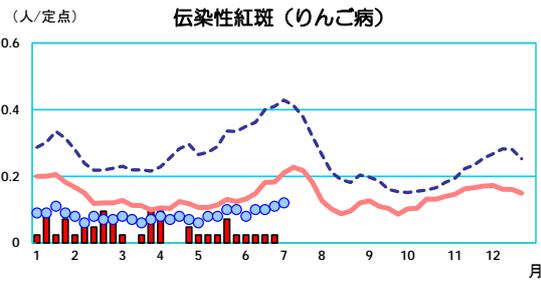
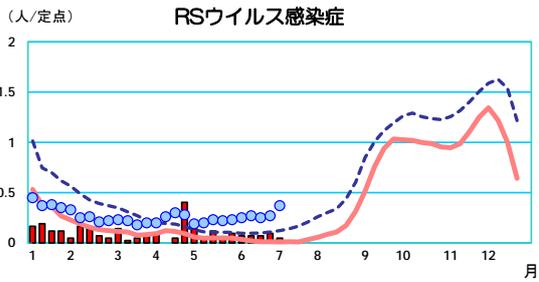
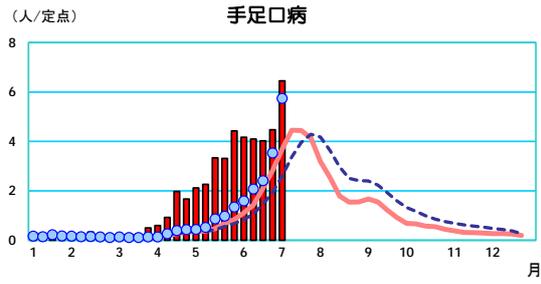
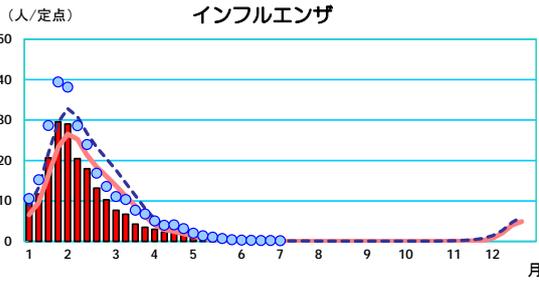
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<手足口病>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年7月12日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第27週(7月3日～7月9日)トピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は6.45(271例)となり、警報開始基準値である「5」を超えました(図1)。このため、7月12日に手足口病流行発生警報が発令されました。今年は例年より早い、第13週から過去5年平均値を大きく上回る報告数で推移してきたため、発生動向に注意してきましたが、平成27年以来2年ぶりの警報発令となっています。

過去7年の動向を見ると隔年で警報開始基準値を超えており、これらの流行年の発生状況から推測すると今後も報告数が増える恐れがありますので、予防を徹底してください(図2)。

全国でも全都道府県で前週よりも軒並み報告数が増え、高知県で定点当たり報告数が20に迫るのをはじめ、26府県で警報開始基準値を超えています。報告数が多いのは西日本に偏っており、近畿2府4県でも警報開始基準値を超えています(図3)。

手足口病は、ウイルス感染によって起こる感染症で、主症状として口の中や手足に水疱性の発疹が出ます。乳幼児を中心に主に夏に流行し、京都市でも本年の報告数の8割以上を0～2歳児が占めています。感染してから3～5日後に口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。また、発熱は患者の約3分の1にみられます。

予防方法としては手洗いをすること、排泄物を適切に処理することが大切です。保育施設等では感染を広げないために、職員と乳幼児がしっかりと手洗いをすることが重要です。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

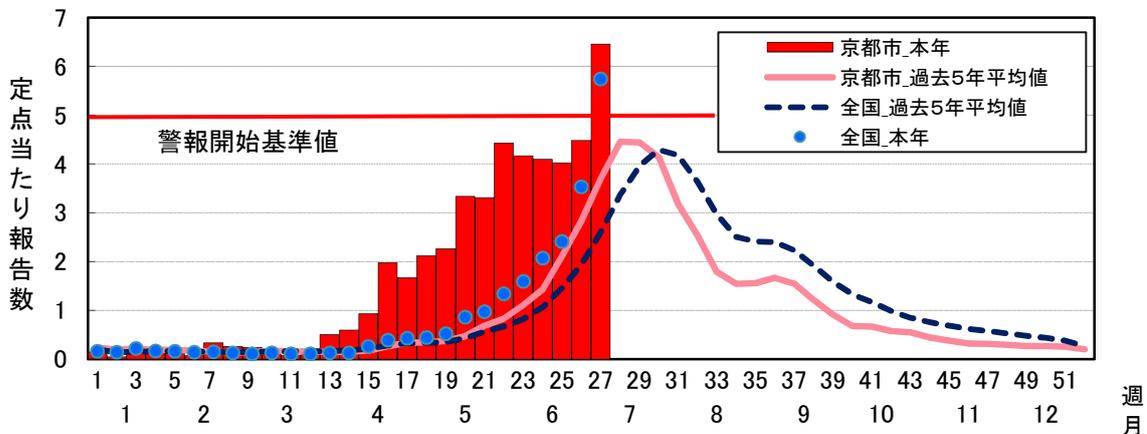


図2 京都市の平成22年から平成29年第27週の定点あたり報告数の推移

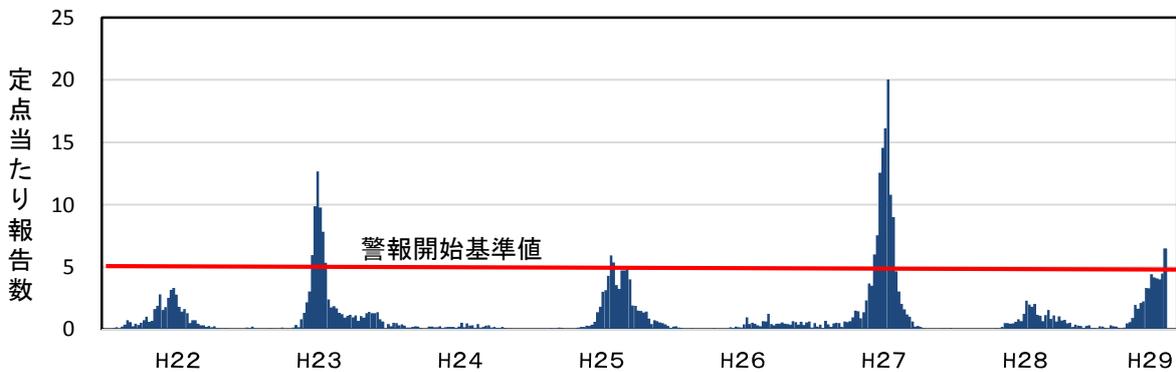
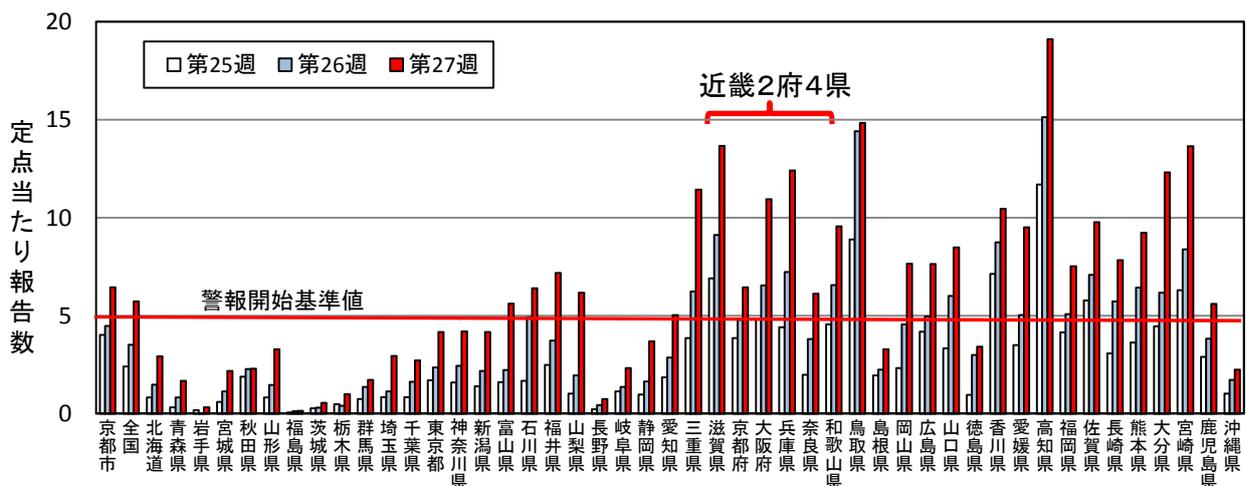


図3 都道府県別の定点あたり報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第27週

疾病,行政区別報告数

平成29年7月3日～平成29年7月9日

データ入手日:平成29年7月12日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	1	3	-	4	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
北	-	-	-	1	3	-	4	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	4	7	-	12	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	12	24	-	40	-	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	1	9	7	1	8	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	29	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	9	6	2	-	19	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	5	4	13	1	17	-	1	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	1	6	14	26	4	58	-	2	-	6	1	-	1	-	-	-	-	-
伏見	1	-	-	25	82	12	86	-	8	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	1	3	6	39	-	20	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	2	25	81	235	18	271	-	29	-	32	6	-	5	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	0.25	0.75	-	1.00	-	0.25	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.25	0.75	-	1.00	-	0.25	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	1.33	2.33	-	4.00	-	0.33	-	0.33	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3.00	6.00	-	10.00	-	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	0.33	3.00	2.33	0.33	2.67	-	0.33	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	14.50	-	2.00	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	2.25	1.50	0.50	-	4.75	-	1.25	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1.50	-	1.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1.67	1.33	4.33	0.33	5.67	-	0.33	-	1.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	0.20	1.20	2.80	5.20	0.80	11.60	-	0.40	-	1.20	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	0.09	-	-	3.57	11.71	1.71	12.29	-	1.14	-	0.71	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	0.20	0.60	1.20	7.80	-	4.00	-	1.00	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.05	0.60	1.93	5.60	0.43	6.45	-	0.69	-	0.76	0.14	-	0.50	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第27週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年7月3日～平成29年7月9日

データ入手日:平成29年7月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
RSウイルス感染症		2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		25	-	4	12	3	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		81	-	1	3	2	7	11	12	12	9	7	2	6	1	8	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		235	3	15	35	28	23	25	15	11	7	8	13	26	4	22	-	-	-	-	-	-
水痘		18	1	1	-	2	1	2	6	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	271	1	32	118	60	23	16	7	5	3	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		29	-	14	11	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		32	-	8	14	6	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	1	1	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症		0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.60	-	0.10	0.29	0.07	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.93	-	0.02	0.07	0.05	0.17	0.26	0.29	0.29	0.21	0.17	0.05	0.14	0.02	0.19	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.60	0.07	0.36	0.83	0.67	0.55	0.60	0.36	0.26	0.17	0.19	0.31	0.62	0.10	0.52	-	-	-	-	-	-
水痘		0.43	0.02	0.02	-	0.05	0.02	0.05	0.14	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	6.45	0.02	0.76	2.81	1.43	0.55	0.38	0.17	0.12	0.07	0.02	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.69	-	0.33	0.26	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.76	-	0.19	0.33	0.14	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	0.20	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第27週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年7月12日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	6	1	1	-	1	1
RSウイルス感染症	4	3	3	3	4	2
咽頭結膜熱	27	37	40	30	17	25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	98	114	138	109	81
感染性胃腸炎	342	339	409	381	309	235
水痘	22	2	7	8	4	18
手足口病	186	175	172	169	188	271
伝染性紅斑	1	1	1	1	1	-
突発性発しん	20	22	20	21	24	29
百日咳	-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	26	11	31	22	18	32
流行性耳下腺炎	8	11	9	11	9	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	4	8	5	8	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	712	705	815	789	692	705

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.09	0.01	0.01	-	0.01	0.01
RSウイルス感染症	0.10	0.07	0.07	0.07	0.10	0.05
咽頭結膜熱	0.64	0.88	0.95	0.71	0.40	0.60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.62	2.33	2.71	3.29	2.60	1.93
感染性胃腸炎	8.14	8.07	9.74	9.07	7.36	5.60
水痘	0.52	0.05	0.17	0.19	0.10	0.43
手足口病	4.43	4.17	4.10	4.02	4.48	6.45
伝染性紅斑	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-
突発性発しん	0.48	0.52	0.48	0.50	0.57	0.69
百日咳	-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.62	0.26	0.74	0.52	0.43	0.76
流行性耳下腺炎	0.19	0.26	0.21	0.26	0.21	0.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.40	0.80	0.50	0.80	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	17.05	17.08	20.00	19.17	17.08	17.16

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。